



川崎競馬倶楽部



SINCE 1990



<http://www.kawasakikerba.com>

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2008年8月号

★川崎オールスターズの夏★

■コウエイノホシ■

長谷川三郎厩舎 牡5歳



大井記念馬として臨んだ帝王賞では出遅れも響いて3着。7月1日に鹿児島に休養に出されたが、8月1日には帰厩して乗り込みを開始するまでになっている。

「帰ってきた当初は夏負け気味だったがだいぶ回復してきた」という。東京記念から始動して浦和記念へと向かうプランになる予定。

■アンパサンド■

池田孝厩舎 牡4歳



2007年の東京ダービー馬アンパサンド。JD D後にはヒザ骨膜の手術などを施され東京大賞典で復帰。フェブラリーステークスへも挑戦して4月のマイルグランプリでは

復活の狼煙をあげたが古傷が悪化。短期放牧先からいったんは帰厩したものの予定していたプランをすべて白紙にして本格休養に出された。6月14日に生まれ故郷の北海道・サンシャインファームへ移動しモックマシン運動中心だがお盆明けには本格的な調整が始まるという。

■ドリームスカイ■

内田勝義厩舎 牡3歳



2008年東京ダービーの覇者ドリームスカイ。目の覚めるような末脚で戴冠したがJD Dでは4着に屈した。7月14日に激戦の疲れを癒すためフレッシュ放牧出され、やっと乗り出したところ。帰厩までにあと1、2ヶ月はかかる模様。

■ディラクエ■

内田勝義厩舎 牡3歳

京浜盃馬としてクラシックに向かったが羽田盃2着、東京ダービー4着と納得いかない結果。立て直しを図るためJD Dには向かわず6月28日に休養へだされた。現在は北海道の社台ファームにて調整中。



■ヴァイタルシズ■

武井栄一厩舎 牡3歳

2歳時に重賞2勝のタイトルホルースとなったヴァイタルシズだが3歳になってからは苦戦。持ち前のスピードを発揮できずにいるため立て直しを図る休養へ。ササ針後は乗り込んで順調な回復を見せ、8月下旬には帰厩予定。



■フィアレギス■

池田孝厩舎 牝3歳



今年の桜花賞で抜群の存在感をアピールして優勝したフィアレギス。東京プリンセスへと駒を進めましたが伸びを欠き7着という結果。検査の結果レース中に左ヒザが剥離骨折していたことが判明。5月に放牧に出されたが「もう少し時間がかかりそう」

■エンタノメガミ■

池田孝厩舎 牝4歳

兵庫チャンピオンシップ3着、兵庫ダービー2着、のじぎく賞制覇と鳴り物入りで南関東入りしたが気性の難しさが出てしまい足踏み状態。リフレッシュをかねて休養に出されていたが8月1日には帰厩し、右回りの大井中心のローテーションを組まれる予定。

■バルバンクール■

山崎尋美厩舎 牡3歳



中央芝遠征からクラウンC→東京湾Cと進んだバルバンクール。2連勝後は黒潮盃に臨み先手を主張するかたちに。直線バテて9着という結果だったこともあり、レース後休養に出された。

■ゲンキチホマレ■

秋山重美厩舎 牡3歳



ニューイヤーC勝ち馬ゲンキチホマレ。クラシックは羽田盃6着、東京ダービー9着という結果。6月10日に休養へ出され、雨になると好走する傾向があることから検査すると喉の奥の弁が下がってしまう奇病を患っていることが判明。しばらくは治療に専念することに。

■オーラガイア■

八木仁厩舎 牡3歳



早い時期から頭角を現し若馬らしからぬ末脚を武器にしたがクラウンC、東京湾Cでは不完全燃焼。東京ダービーは8着。自己条件後は7月30日に遠野に休養へ出された。ササ針して馬体を立て直し11月頃から始動する予定。

■ブライトフェース■

池田孝厩舎 牡3歳



道営から移籍しニューイヤーC、クラウンC各々3着と健闘。気性の難しさもあってレースに条件が付いていたが東京ダービーでは馬群に怯むことなく進境。6月8日に休養に出され秋に復帰する予定。

■ブルーザミント■

足立勝久厩舎 牝3歳



桜花賞では逃げて3着に粘ったブルーザミント。東京プリンセス賞は大敗し、距離が長いことから関東オークスも自重して自己条件へ向かったが結果を出せず乗馬に転向することが決定。7月15日に登録抹消された。

■タキオンスピリット■

池田孝厩舎 牡4歳

デビューから11戦するうち負けたのは体調を崩してしまった戸塚記念の時だけという逸材。休養を挟みながら連勝をつづけ目標をスパーキングサマーカップに掲げていたがB1クラスでは出走が叶わなかった。しかもその調整中に靱帯を痛めてしまったことから再び休養することが決まり、近日中には放牧先へと移動する。

■クラシックムード■

田島寿一厩舎 牡5歳

大師オープンに勝つなど重賞戦線で活躍する素質がありながら歯がゆいレースが続いているクラシックムード。7月26日に夏休みを兼ねた短期間のリフレッシュ放牧へだされ、9月上旬には帰厩予定で今年から新設される重賞「埼玉栄冠賞」から復帰する予定

■マンハッタンバー■

池田孝厩舎 牡4歳

中央から移籍して南関東クラシックに参入したマンハッタンバー。東京ダービーでは積極果敢な大逃げを打ったが直線失速。その後ヒザの剥離骨折が判明し手術を施され休養していたが8月3日に帰厩。復帰戦はまだ未定。



シンメイレグルス盛岡マーキュリーC遠征

7月21日盛岡競馬場で行われたダートグレード競走マーキュリーカップ(JpnIII・2000m)に長谷川三郎厩舎のシンメイレグルスが参戦した。中央時代は準オープンで活躍していたシンメイレグルスは今春に転入して以来4戦2勝と南関東オープンでも通用することをアピールしていた。マーキュリーカップでは早め先頭に躍り出る積極的な競馬となったが盛岡の直線にある坂でもバテることなく食い下がり4着。勝ったのは2番人気のサカサトで、直線の叩き合いを制したかたち。中央勢が上位3着までを独占するなか、シンメイレグルスは地方馬最先着という健闘ぶりだった。今開催のスパーキングサマーカップでは待望の初タイトルを地元戦で狙っている。

<写真提供 岩手県競馬組合>

◆◇HAPPY BIRTHDAY 8月生れ◆◇

拜原靖之騎手(3日) 栗林信文厩務員(3日) 河津裕昭調教師(6日) 河崎和博厩務員(6日)
三宅章裕厩務員(7日) 山林堂信彦騎手(10日) 鈴木長松厩務員(11日) 志村直裕厩務員(12日)
田島寿一調教師(14日) 伊藤剛厩務員(20日) 中原良二厩務員(21日) 小竹清一厩務員(22日)
佐藤伸一厩務員(22日) 田辺陽一調教師(25日) 加藤誠一調教師補佐(25日) 古澤清英厩務員(30日)



★ 河崎 和博 厩務員 <久保秀男厩舎> ★

三重県出身の河崎和博厩務員。競馬とは無縁の環境で育ったが、中学2年のとき中央の競馬中継で見て「面白そう」と思ったのをきっかけに競馬に興味を持ったそうだ。当時はナリタブライアンなどの活躍馬もいたが、一番印象深い馬は逃げ馬として脚光を浴びたサイレンススズカだという。

高校を卒業し、19歳のときに雑誌の求人を見て乗馬クラブでアルバイトをしたのが馬との最初の触れ合いとなった。その後、高知競馬の松下博昭厩舎で厩務員として4年間を過ごすことになる。「1人で4、5頭を担当していたこともあり忙しかったが、面白かった」と、その頃の思い出を語ってくれた。担当した中には、中央の皐月賞5着、菊花賞4着という戦績を残したイブキタモンやグラヤ、同じく中央でNHKマイルCに出走し、高知在籍の2年間で7連勝を含む11勝をしたバンブーピノなどがいた。高知競馬と聞いて思い浮かぶのがハルウララだが、河崎厩務員は担当の厩務員の方と仲が良かったこともあり、ハルウララの90戦目ぐらいのときにパドックで引いた経験もあるそうだ。

高知で4年間を過ごしたのち、知人の紹介により川崎の久保秀男厩舎に来て6年目。高知と比べ、「忙しさは変わらないが、1頭にじっくり時間をかけられる」と川崎での魅力を挙げた。現在、担当している中での代表馬は今年の報知オールスターCを勝ったエスプリベンだが、その勝利を掴むまで、数々の苦難を乗り越えてきた。重賞でも活躍したマキノヒリュウには「競馬を教わった」そうで、その後に大きな影響を及ぼしたと言う。ホッカイドウ競馬から転厩してきたタガタメを担当していたときは思うような結果が出せず、悔いが残った。

そのタガタメが転厩した直後の昨年4月、エスプリベンがクラウンCを逃げ切って勝利し念願の初重賞を手に入れることができた。しかし、クラシックの羽田盃では競争中止、東京ダービーでも16着と残念な結果が続いてしまう。さらに、馬インフルエンザの影響で放牧後の帰厩が遅れてしまったため、秋の目標としていた戸塚記念も回避せざるを得なくなった。そんな予定外の出来事がありながらも、エスプリベンは今季最初の重賞報知オールスターCで再び劇的な逃げの果てに勝利を収めてくれた。鞍上の山崎騎手が感泣していたことが記憶に残っているが、河崎厩務員も嬉しさのあまり思わず込み上げてくるものがあったという。もともと体質が弱く疲労が溜まりやすいエスプリベンに対しては、筋肉をほぐすマッサージでもより気を遣っていたなどと苦勞を打ち明ける中、休みの日も問わず調教に乗ってくれた山林堂騎手には本当に感謝していると、支えてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちも話してくれた。

さて、誕生日となる8月6日は川崎開催の真っ只中ではあったが、担当馬の出走予定はないため自厩舎の馬の応援をして過ごす予定を教えてくれたが、実際はどうだったのだろうか？中学時代は野球部に在籍し現在は阪神ファンのようで、今年も忙しい合間にも3回ほど球場にも応援に行ったり、ラーメン好きで1時間待ちでも並んで食べるなど趣味の話も聞かせてもらったが、やはり今は馬一筋だそうだ。

気になるエスプリベンのこの夏の目標は、20日におこなわれるスパーキングサマーC。馬に対して人一倍優しく、常に「故障などせず、少しでも長く走らせたい」と心がけている河崎厩務員の気持ちに込められていることだろう。



エスプリベンとツーショット



2歳戦勝ち馬一覧表

- ◆6月20日第1競走新馬戦 **テラザトゥーレ**
牝・鹿毛 父チーフベアハート 母コスモハイクラス
田邊陽一厩舎 馬主・海野修太郎
- ◆6月20日第2競走新馬戦 **ヴァルダマーナ**
牡・鹿毛 父Officer 母Certezza
池田孝厩舎 馬主・伊達泰明
- ◆7月14日第1競走特選 **ツルノゴゼン**
牝・鹿毛 父アグネスゴールド 母コンバットローズ
田島寿一厩舎 馬主・宮本猛志
- ◆7月17日第1競走新馬戦 **フィロソフィア**
牡・黒鹿毛 父イーグルカフェ 母ダイコープラチナ
田島寿一厩舎 馬主・豊巻壽博
- ◆7月17日第2競走新馬戦 **ブルーサンオー**
牡・黒鹿毛 父イーグルカフェ 母サンライトブルボン
足立勝久厩舎 馬主・黛大介
- ◆8月4日第8競走新風特別 **ツルノゴゼン**
牝・鹿毛 父アグネスゴールド 母コンバットローズ
田島寿一厩舎 馬主・宮本猛志
- ◆8月6日第1競走 **フェイスレックス**
牡・鹿毛 父フサイチソニック 母スレーター
高月賢一厩舎 馬主・(有)武田興業
- ◆8月8日第1競走新馬戦 **プロディージュ**
牡・黒鹿毛 父サウスヴィグラス 母マロンフラワー
高月賢一厩舎 馬主・横澤省一
- ◆8月8日第2競走新馬戦 **ニットウビュー**
牝・黒鹿毛 父クリプティックラスカル 母ビューエリーゼ
八木正雄厩舎 馬主・平野昭一

◎◎▲▲おつかれさま▲▲◎◎

■平成20年7月退厩馬■

厩舎名	馬名	性	齢	退厩先	退厩理由
村田六郎	ダイゼンシン	牡	3	兵庫県	転厩
池田 孝	サドラズアレグロ	牡	4	愛知県	転厩
長谷川三郎	イノシヤヘイ	牡	4	神奈川県	乗馬
福島幸三郎	ラックウィンディ	牡	4	岩手県	転厩
内田勝義	メークアポイント	牡	5	栃木県	乗馬
足立勝久	ブルークリーク	牡	3	神奈川県	乗馬
足立勝久	ブルーザミント	牝	3	神奈川県	乗馬
足立勝久	ブルーカントリー	牡	5	神奈川県	乗馬
足立勝久	ナトリルーブル	牝	4	北海道	繁殖
吉橋淳一	スターダストボーイ	牡	6	千葉県	乗馬
内田勝義	レッドピクシー	牝	4	北海道	繁殖
池田 孝	リュウノアリオン	牡	3	静岡県	乗馬
足立勝久	ワレンダーソロン	牡	6	栃木県	乗馬
長谷川三郎	トキノミスタキオン	牝	3	北海道	繁殖
今井輝和	デザートモーニング	牡	6	群馬県	乗馬
久保秀男	トリコロールカラー	牝	3	群馬県	乗馬
佐藤 健二	モンタメロディー	牝	6	福島県	乗馬
梅山和則	キャニオンジャック	牡	3	福島県	乗馬
今井輝和	リーベンディッヒ	牝	4	福島県	乗馬
田島寿一	ミツアキフレンチ	牡	7	群馬県	乗馬
池田 孝	ハンティングデール	牡	3	東京都	転厩
山崎尋美	マサノメジャー	牝	3	北海道	繁殖
内田勝義	スキッターザヘヴン	牝	6	埼玉県	転厩
佐々木仁	ナイスロンリー	牝	3	福島県	乗馬
佐々木仁	ロンリークイーン	牝	4	福島県	乗馬
長谷川三郎	ラッキートゥモロウ	牡	5	神奈川県	乗馬
佐々木吉郷	コスモフェバリット	牝	4	福島県	乗馬
八木正喜	ヤマニンランダー	牡	6	群馬県	乗馬
岩本 洋	ケイアイヤマノカミ	牡	3	東京都	転厩
武井榮一	ウイニングリーマ	牝	3	群馬県	乗馬
高月賢一	スギノマリアージュ	牝	4	長野県	乗馬
吉橋淳一	トラストエース	牡	4	福島県	転厩
今井輝和	ダッシングディーバ	牝	4	福島県	乗馬
八木正喜	ゴールデンパンジー	牝	5	岩手県	転厩
田邊陽一	テラノゴースト	牡	6	栃木県	乗馬